

2021 オールキッズトライアスロン【デュアスロン競技会】

新型コロナウイルス感染予防対策

2022年1月10日開催（1月7日現在）

オールキッズトライアスロン大会実行委員会は、本日1月7日（金）の危機管理対策委員会を開催し、新型コロナウイルス感染予防対策の内容等を再確認し、参加者と関係者の安心と安全を確保することを第一優先として予定通り開催することを決定いたしました。

感染急拡大を受けたことから、開催地の立川市、昭島市、会場の国営昭和記念公園とも再度協議し、予定通り開催することの意向を頂きました。さらに実行委員会では、過日に発表している新型コロナウイルス感染予防ガイドラインを見直し、基本的な感染予防対策に加え、公園内でのスポーツイベントにおける感染対策等の一部対応を強化することも決議いたしましたので下記を御案内いたします。

★対策追加事項

- ・選手、応援者、スタッフ、関係者の当日検温を行います。

要項では37.5度以上の方は会場エリア（公園内）に入れないとしておりましたが、受付にメディカルチームを配置し、37.0度以上の場合、メディカルの再確認を経て、出場（入場）の可否を判断するようにいたします。何卒ご了承くださいませようお願い申し上げます。

選手、応援者の皆さまにおかれましては、体調を万全な状態にしてご来場、ご出場していただき、スタッフも含めた関係者全員で感染症への対策をして、安全安心な大会を目指して行きたいと思っております。

以下、ガイドライン、要項にある対策のまとめです。必ず再度お読みいただきご来場ください。

○事前準備

- ・選手1名につき、応援者は2名以内としています。
- ・選手、応援者は、体温・健康管理・行動記録シートに2週間の記録し、受付にて全員提出を確認します。
- ・事前に支給物を発送しており、当日の受付を簡素化し、密になることを防いでいます。
- ・大会当日の競技説明は行わず、事前にオンラインで視聴できるようにしています。

○大会当日

- ・入場、受付、トランジション準備、スタートは時間差を設け、密を防止します。
- ・支給物は自分でとれるようにし、受付で渋滞ができないようにします。
- ・開会式、表彰式は行わず、参加者には、競技終了後は帰宅を促します。
- ・荷物預けはトランジション内に各自が置けるスペースを確保します。
- ・各所に消毒液を配置します。

○競技、コース

- ・狭いエリアの往復コースを片道コースに変更しています。
- ・応援者が密集するエリアを立ち入り禁止とし、別のエリアへ誘導します。
- ・スタート前など、距離を保って並ぶようにします。
- ・スタートはローリングスタート（少人数の時間差スタート）とし、集団を防ぎます。

- ・ 同伴フィニッシュはできません。
- ・ フィニッシュテープは、大会の最初のフィニッシャーのみ使います。
- ・ エイドステーションでは、自分で紙コップをとり、指定のゴミ箱に廃棄することとします。
- ・ フィニッシュ後、アンクルバンドは自分で取り外し、指定の箱に入れます。
- ・ 支給物は自分で必要なものをピックアップします。
- ・ 競技中以外はマスクの着用を義務化しています。不織布マスクを推奨しています。
- ・ 冬季でもあり、選手の競技中のマスク着用は任意、ただし、不織布マスクは控えるよう促します。

○審判、スタッフ、大会関係者

- ・ ポジションごとにコロナ対策チーフを設け、予防対策を徹底します。
- ・ マスクをしない状態の選手と近い環境にいるスタッフは、フェイスガード等を着用します。
- ・ 審判は不織布マスクまたは大会支給のマスクとの2重着用を推奨とします。
- ・ 審判、スタッフは、体温・健康管理・行動記録シートに2週間の記録し、全員提出します。
- ・ コース管理スタッフは、メイン会場に集合せず、配置場所にすぐに移動し、密集を防ぎます。
- ・ ポジションにより、アルコール消毒液を携行します。

オールキッズトライアスロン大会実行委員会
公益社団法人日本トライアスロン連合 (JTU)